

3 年 学 年 だ よ り



# … 深まりゆく 秋 …

皆様のまわりにも、『秋深し』と感じられることが多くなってきたのではないのでしょうか。自然も実りの時を迎えています。私たちも心身ともに実り多い秋にしたいものです。

18(日)は、総合の学習発表会です。臼台祭のおはやし練習、祭りの由来の劇、祭りの絵等々。発表に向けて今精力的に活動を展開しています。この取り組みを通して、校区に伝わる祭りを調べ、表現豊かに発表できる子をめざしております。子どもたちに励ましの言葉をかけていただければとてもうれしく思います。

## 11月の予定

- |                           |                   |
|---------------------------|-------------------|
| 1日(木) 就学時健康診断A3(12:45 下校) | 20日(火) 学校公開、登校指導  |
| 2日(水) 読み聞かせ               | 21日(水) 学校公開       |
| 3日(土) 文化の日                | 22日(木) 学校公開、月の時間割 |
| 8日(木) ゴミゼロ運動(一斉下校時)       | 23日(金) 勤労感謝の日     |
| 18日(日) 学習発表会(12:10 下校)    | 27日(火) 体重測定       |
| 19日(月) 代休                 | 30日(金) 登校指導       |

・・・ 「失敗にくじけない心」を育てていきましょう ・・・

何かに失敗すると、落ち込んだり、自信がなくなったり、もうどうなってもいいと思ったりと、いわゆる自尊感情を低下させていきます。その結果、子どもにそんな辛い思いはさせたくない。暗く沈んだ子どもを見るに忍びない。だから、失敗しないように、困らないようにと、先回りして手を貸し、あれこれと口や手を出したくなる。

これでは、試行錯誤のチャンスを奪っていることになるでしょう。大人は、「失敗をさせないこと」より、「失敗にくじけない心」を育てることが大切かと思います。失敗して、それを乗り越える。その繰り返し子ども自身の心身を成長させ「失敗にくじけない心」を形づくっていくのです。それを支え育てるかわり方が大切になってきます。

- ・ 失敗した子はもう十分に傷ついている。そっと抱きしめ、やさしく包んであげたい。
- ・ 失敗したことを責めるのではなく、失敗して落ち込んでいる気持ちをくみ取った言葉がけをしてあげたい。
- ・ 頭ごなしに怒られ子は「失敗したらどうしよう」「また間違ったら怒られる」とオロオロして、ますます自分をダメにしていく。失敗の中にもよい点を見つけたり、がんばっている姿を認めてあげたりしてあげたい。
- ・ 学習中「間違えることは何も恥ずかしくない」「間違えた方が逆に答えを忘れない」というように間違えや失敗を恐れないようにしてあげたい。
- ・ 失敗をしたとき「あなたががんばったことは、わたしはちゃんとわかっているから」と声をかける。誰かが見ているし、必ず何か大切なことがみつけれられるようにしてあげたい。
- ・ 失敗して落ち込んでいるとき「わたしも子どものころこんな失敗をしたよ」と話してあげることで、安心感をかもし出せるようにしてあげたい。

結果より、努力している過程を認めてあげたい。努力しているとき「がんばっているね」と声かけをすると、子どもは自分を見てくれている、努力を認めてくれていると実感します。たとえ失敗しても「あれだけががんばったのだから、この結果は仕方がない」「あんなにがんばったのに、どうして失敗したのだろう」と失敗を受け止めたり、失敗から学ぼうとする気持ちになってきます。

命の大切さや人として基本的なことは徹底して教えなければなりません。しかし、その他のことは、おっとりとおぼろげに見守り続けたいものです。〈参考文献：児童心理9月号〉